

4年次

# 腎 II 【Nephrology II】

担当責任者 教授（第2内科学） 片岡 雅晴

ねらい

病歴・現症・検査所見から腎疾患の適切な診断と治療法を選択できるようになるために、主な腎疾患の病因・病態生理・診断法および治療を理解する。

学修目標

1. 主要な腎疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(II-5)
2. 基本的な診察法を述べるができる。(II-6)
3. 主要な検査法の適応と、その数値の意義を列挙することができる。(II-6)
4. 主要な腎疾患の治療の基本について説明できる。(II-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について参考書等で予習する。
2. 講義直後(当日)に講義テキスト等を熟読し、内容を深く理解する。

成績評価方法・基準

1. 講義への2/3以上の出席で受験資格を得る。
2. 試験点数および理解度チェックの為の小テストの結果を考慮して総合的に判断する。

○教科書

矢崎義雄総編集「内科学」(朝倉書店)  
 南学正臣編「内科学書」(中山書店)  
 Comprehensive Clinical Nephrology, 6th Edition, Elsevier

○参考書

イヤーノート2022 内科・外科編 メディックメディア  
 ガイトン生理学、エルゼビア・ジャパン  
 病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第4版 メディックメディア

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.7	水	V	原発性糸球体腎炎(総論)	D/F	8/1-3		宮本 哲
4.14	〃	〃	原発性糸球体腎炎(各論I)	〃	〃		〃
4.21	〃	〃	原発性糸球体腎炎(各論II)	〃	〃		〃
5.12	〃	〃	ネフローゼ症候群	〃	〃		中園 和利
5.19	〃	〃	二次性糸球体腎炎(I)	〃	〃		久間 昭寛
5.26	〃	〃	二次性糸球体腎炎(II) 小テスト	〃	〃		〃
6.9	〃	〃	尿管・間質性疾患	〃	〃		〃
6.16	〃	〃	急性腎不全	〃	〃		長谷川 恵美
6.24	木	〃	慢性腎不全	〃	〃		〃
6.30	水	〃	透析療法(I)	〃	〃		宮本 哲
7.7	〃	〃	透析療法(II) 小テスト	〃	〃		〃